事業所名	こどもデイ　ういず	支援プログラム（児童発達支援）	作成日	2025 年	3 月	1 日

法人（事業所）理念		こどもたちの笑顔、こどもたちの喜びを引き出し寄り添います。 重症心身障がい児・者が地域社会の一員として暮らしができるように、療育のための支援、医療的ケアとそれに関わる情報提供wして、利用者の健康状態が心身ともに保てるようサポートしていきます。 利用するお子さんが健やかな生活を送り、成長が促され、さらにご家族や関わる全ての人々が幸せと感じれるよう寄り添った活動を行います。
支援方針		お子さんと家族に寄り添い、明日の幸せを私たちと共に成す。 どんなに障害が重くとも、住み慣れた地域でご家族と共に、楽しく、あたりまえの生活を送ることができるよう支援します。 本人支援はご家庭の協力のもと5領域に網羅した支援をしていきます。5領域における具体的な内容はお子さま一人ひとり成長や発達において異なります。お子さま一人ひとりにあった個別支援計画書を作成する際には5領域の項目を明記してご説明します。
営業時間		月～土　10 時　0 分から　15 時　0 分まで　／　送迎：あり
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	健康状態の維持に努め、日常の医療ケアを行います。 安心して生活ができるよう家族と連携していきます。 健康・安全な生活に必要な習慣を身につけながら生活リズムを整えていきます。
本人支援	運動・感覚	朝の会や始まりの会の体操やPTの指示のもと身体の取り組みをします。様々な身体の感覚、感触に触れ、感覚の成長を支援します。 音楽療法・音楽遊び・バイオリン生演奏、絵の活動を行います。 重度の障がいによる身体の変形や拘縮が原因となる活動制限に対し、安全・安楽に過ごせるような体位の工夫、姿勢の調整を行います。
本人支援	認知・行動	行事や様々な活動、初めての体験を通して興味や関心を広げていきます。 お散歩や外出を通して季節の変化への興味・体験を深めていきます。 体験型活動等を通して想像力や楽しみの機会を増やしていきます。 個別活動を通して個々に支援し成長できるようにしていきます。
本人支援	言語 コミュニケーション	言語的および非言語的な手段を通してコミュニケーションが広がるよう支援していきます。 視覚障がい、聴覚障がいのお子さんに対しても、言語的および非言語的な手段を工夫してコミュニケーションを深めていきます。
本人支援	人間関係 社会性	他の事業所を訪問したり（ハロウィン等）、イベント参加やお散歩等で社会性が広がるよう支援していきます。 他児や職員と関わりながら、一緒に遊んだり、過ごしたりする楽しさや仲間意識、達成感等を感じられるよう支援します。
家族支援		保護者と情報共有を行い、適切なケア、発達を促すための援助を考え実施します。 保護者の困りごと、家族（兄弟姉妹も含む）の相談に対する適切なアドバイスができるようお手伝いします。
移行支援		保育所等への移行支援として、情報提供・連携を行います。就学に向けては学校選択時の相談や情報提供、関係機関との連携等を行い必要な支援提供を行います。 他の事業所との併用利用の際に、情報共有、連携した支援を行います。
地域支援・地域連携		通所する子どもに関わる地域の関係者、関係機関との連携した支援を行います。（連携機関会議、学校説明会、見学会等）
職員の質の向上		事業所内で、外部講師を招いた研修会を行ったり、医療機器や救急対応の研修は定期的に行っています。専門のスキルを向上するために外部の研修に参加しています。
主な行事等		別表記載